

令和2年度第3回宇陀市総合教育会議 議事録

開催日時：令和3年2月8日（月） 9時30分～11時	
開催場所：宇陀市役所3階 庁議室	
構成員出席者	金剛一智宇陀市長 福田裕光教育長 岡本憲明教育委員 巽礼子教育委員 吉川壽一教育委員 峯畑忠郎教育委員
説明者	中西教育委員会事務局長 薄木教育員会次長 古谷教育員会次長 山岡総務課長 垣内教育総務課主幹 百瀬指導主事
協議事項	宇陀市教育大綱の一部改訂について
議事（発言内容等）	
市長	改めまして、おはようございます。いつもありがとうございます。日頃から宇陀市の教育行政にご尽力いただきましてありがとうございます。改めてお礼申し上げます。 本日は、前回皆様方からいただいた意見をもとに、教育総務課で修正版を検討して参りました。短い時間ではありますが、より良い改訂版の策定に向けて、皆様方のお力添えをいただきたくお願いいたしまして、簡単でございますが挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。 それでは早速ですが、本日の協議事項を進めさせていただきたいと思っております。まず、宇陀市教育大綱の一部改定についてということで事務局から説明をお願いします。
垣内主幹	改訂版宇陀市教育大綱の完成イメージについての説明
巽委員	後で、この解説部分の文書についてはまた色々な意見が出てくるかと思いますが、私も見たところ、イメージ1で全体に示した方が見やすく読みやすいし、後で変更が効くというようなことも含めて、全体に示すのはイメージ1の方法でいいのではないかと思います。細かいところは、読みたい人は読む、知りたい人は聞くということで、ウェブページで解説を入れていただいた方が、親切というか、本当に知りたい人がそこを真剣に見ていくと思うので、全体に示すのはイメージ1でいいのではないかなという考えです。他の委員の方はどうでしょうか？
岡本委員	私もイメージ1でいいと思います。当然、1年だけの教育大綱ではないので、やっている途中でどう良い方向に変わっていくかというのも大事だと思うので、その都度その都度改訂版という形でウェブで示して行って、ただ、このイメージ1の一番最後のウェブに行く時に、QRコードなりアドレスを書くと思うんですけども、誰もがすぐに入っていけるような形、詳しいことはこちらに示していますよというような分かりやすい示し方を再度検討していただいて、イメージ1でいっていただければどうかなと思います。
吉川委員	私もイメージ1でいいと思います。それから、やはりウェブで解説するのでしたら、ここでちゃんと解説していますよ、ここにちゃんと詳しく書いていますよ、という表現があれば、より親切でいいのかなと思います。
峯畑委員	私も結論的には完成イメージ1の方で賛成です。2つ理由がありまして、1つは、解説を入れると紙面構成の方が3枚になってくるかと思うので、市民の方に見ていただくためにはより簡単な方がいいかなというのが1つです。もう1つは、先ほど事務局の方からもお話がありました解説の方ですが、これでいいと思えますが、課題というのがここ数年のうちにまた新たなものが生まれてくるかもしれないということを危惧しますので、そうすると、提案されているように、ウェブにしておく、修正しやすいその時に応じた課題を取り上げることができるかなと思いますので、事務局の案に賛成です。

市長	<p>ありがとうございます。委員の皆様のご意見、事務局も聞いていただいた通りですけれども、1点ですね、スマホとかに慣れていない方がやはりおられます。QRコードというのは、そういう方にとっては結構冷たい感じとか、入口をそこで閉ざされたような感じが正直あると思うんです。ですので、ぜひパンフレットのQRコード横に、“教育委員会のどこそこへ聞いてくださいね”ということをご丁寧にお示ししたら、QRコードが苦手な方でも、自分の子どものことや孫のことが気になるからそっちに聞いてみようとなるかと思えます。そういうふうにすると、うまく言えませんが全体的に暖かい感じがするかなと思えました。またご検討いただけたらと思いますけども。</p> <p>ではどうでしょう。今、委員の皆様から紙ベースはイメージ1でいこうということでご意見いただきました。その案で進めさせていただきたいと思えます。ありがとうございます。</p>
垣内主幹	<p>「教育の基本理念」、「基本目標」及び「基本方針」の①「社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう」について、前回会議での意見を踏まえた修正内容を説明。</p>
異委員	<p>「社会人としてよりよく「生きる力」を育てよう」の項目について、前回に比べてうまくまとめていただいたと思っています。ただ最後の項目⑥「いじめや不登校に対する支援の充実」のところで、説明文の後半、“スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、その他の関係機関と連携して取り組みます”の箇所が少し弱いと思えます。スクールソーシャルワーカーは別として、現在やってきたことなので、“支援の充実に努めます”などの方が文言としてはいいのではなかと思うのですが、いかがでしょうか。また検討しておいてください。7項目というのをうまくまとめていただいたような気がしますが、⑥の最後の文言のところだけ、“関係機関と連携して取り組みます”という言い方が少し弱いのではないかと思うので、更に一步進んだ言い方がいいと思えます。</p>
市長	<p>確かに今異委員おっしゃったように、最後どういう言い方するかというので、その前の文章が全部軽くなったり重くなったりしますので、そこは大事なご指摘だと思います。こちらの決意を示すというところもありますし。</p> <p>私が気になったのは、⑦のところで、コロナに関する記述を抜くという話があったのですが、実は私はおそらく3年後、コロナとどういう形にせよつき合っていくようなことかなというふうには今は想像しています。コロナで子どもさんがこれだけひどい目に遭う時代が来るとは、というのが正直なところ。本当にかわいそうとか気の毒です。修学旅行、運動会、学校の行事1つとっても、本当に楽しくないというような。だから、我々としては、コロナは続くという想定のもと、そんな中でも、何か子どもさんに楽しいとか良い教育環境を作っていかなければならないということは思っていますので、もう一度コロナについて一言でもいいから入れてもらえないかなというお願いです。</p>
岡本委員	<p>私も市長と同じ意見で、言わせてもらおうかと思っていましたけども、後でウェブ版でその都度変えていきますという話が最初にあったので、今現在の教育大綱の中では、コロナという言葉を入れておいたらどうかなと思えます。特に⑦の時代の変化に対応したという文言の中で、令和3年の時代はやはりまだコロナに対する対策なり色んなことが必要となってくるわけなので、2年後3年後の、もうコロナのことは全然なくなった、過去に大変な問題があったなという時には、このコロナということを外していただいて、今、令和3年に示すときには入れていければとうかなというふうには思えます。</p>
吉川委員	<p>私もコロナのことは入れたほうが良いとは思っておりましたが、市長はじめ他の先生方も同じ意見を持っているなと思えました。</p> <p>それから1つだけ、漢字の使い方、「もつ」とひらがなで表記されていますけど、例えば、基本方針の①の②“人権感覚をもつ”など、「もつ」という言葉自身が、平仮名で「もつ」というのは分かるのかなと。漢字で「持つ」という表記にする方がいいのかなと迷ってい</p>

	たところす。他にも、②の解説文の最後の方の“人権感覚をもった子どもの育成”の箇所では平仮名を使っていると思うのですけれども、これを見て、人が理解をするのに、「もった」という平仮名で想定するのか、漢字を見てこれはこういう意識を持たないといけないんだと意識をするのか、漢字と平仮名で全然イメージが違うと思っていたんですけども、「もつ」や「もった」という平仮名表記というのは何か意味があるのかなと気になっていました。
垣内主幹	これにつきましては、県の教育委員会の方は、具体物の場合は漢字で、抽象物の場合は平仮名ということですのでずっといっているんですけども、最近、文科省の方も漢字を使い始めているので、国の流れに合わせて漢字かなとは思いますが。でも、県はそういうふうに具体物なのか抽象物なのかで使い分けしておりました。
岡本委員	私も今、吉川委員に言われて、漢字で書いたら確かに「持つ」だなというふうに思いますね。同じ「持つ」という言葉にしても、漢字と平仮名では感じ方が違うように思いますね。今言われて、やはり漢字の方がいいような気もしました。
市長	今のご意見を参考にさせていただいて、確かに文字の意味って漢字か平仮名かで受け取り方も違いますし、ご意見として承ったらどうですか？大切なご意見だと思います。
巽委員	漢字にするかどうかのときに、項目のところにも「もつ」、「もった」という文言が入るので、その時に漢字がいいか平仮名がいいかというのでも考えていただいて、解説の部分のところは、漢字で、或いは平仮名でというのは、どちらでも読めると思うが、その大きい項目に使うときに漢字の「持つ」がピンとくるのか、平仮名で「もつ」、「もった」と表現する方がピンとくるのかということも考えて検討してください。
垣内主幹	②「家庭の豊かな教育力を育もう」について、前回総合教育会議での意見を踏まえた修正点を説明
吉川委員	先ほどと一緒にこの「もった」という漢字のことと、⑫の説明文の最後、「環境を充実させます」という箇所について、「させます」という方がいいのか「します」という方がいいのか、「させます」と言ったら、上から強制的に何かこう、圧力をかけて、無理やり実行するののかという風に捉えられなくはないのかなと。そうすると「します」の方が、訴えるこちらから、こういう風にしますよということでもいいのかなと、はっきり答えは分からないですけど、読んでいてどちらがいいのかなと思いました。
垣内主幹	「整えます」という言葉を使っているので、「環境を整えます」と置き換えることは可能かと思えます。先ほどの巽委員の意見もありましたように、すでにある、すでに整っているものをさらにとというようなニュアンスを加えるのであれば、充実という言葉を使いたいところでもあります。
巽委員	本当に宇陀市の場合は、生まれてから支援センターなどをうまく活用して、就学前教育が充実していると思うんです。だから、より一層という意味を込めたほうがいいと思います。
市長	宇陀は他の市町と比べて充実しているのですか？
巽委員	子供の数が少ないということもあると思うのですが、他市町村よりは、早くから3歳児保育を進んで取り入れてくれていますし、幼稚園、保育所、こども園が私立も含めて全部連携してというか、繋がっている感じがするんです。 だから、他の市町村ではなかなか私立と公立、それから幼稚園と保育所との関係ってうまくいかないところが今でも多いんです。そこへこども園があったりなかったり。宇陀市の場合は本当に早くから同じように統一されているし、人事交流もされて、進んでいると思います。
市長	どうでしょうかね、「家庭の豊かな教育を育もう」というところも、なかなか学校では皆同じようにいい環境ですけども、家庭に戻るとそれぞれ家庭の事情が違いますので、この

	<p>②のところは、やはり力を入れないといけないと思いますけれども。</p>
垣内主幹	<p>③「家庭の豊かな教育力をはぐくもう」について、前回総合教育会議での意見を踏まえた修正点を説明</p>
異委員	<p>前回と比べると、家庭教育に入れるか、地域社会の方に入れるかということをうまく配分していただいたと思います。1点気になるのが⑮。解説を読むと、⑮の項目の中身がすごく盛りだくさんなんです。いわゆる通学路の安全確保など子どもの見守りという部分と、それから子ども食堂や放課後の子ども教室という部分については、子どもの居場所づくりという項目になると思うので、それを、もし文章的にできるのであれば、「子どもの見守り」と「子どもの居場所づくり」を分けて項目をつくれなかなと。この「地域全体で子どもを見守ろう」の項目が4つしかなくて、バランス的にも弱いと思うので、ここで2つに分けて項目を5つに増やせないかなと最初思ったんです。項目だけを取り出して見たら、②「家庭の豊かな教育力を育もう」のところが5項目あって、③「地域全体で子どもを見守ろう」というところも5項目にしたら、地域と家庭が連携してという部分がうまくバランスをとれるんじゃないかなと思います。この⑮の文章が、多分欲張りすぎているかなと思うんです。だから私は、「見守り」と「居場所づくり」とを分けたらもう少しすっきりするかなと思っています。この⑮の項目だけをすごく短絡的に読んだら、学校の行き帰りの安全確保ぐらいにしか見えないんです。子どもが安全・安心に学校・園に通える地域づくりというのは、本当はもっと深い意味があると思うのですが。分けられたらこの項目を2つに分けて、「地域全体で子どもを見守ろう」を5項目にできたらいいかなと思っています。</p>
垣内主幹	<p>ありがとうございます。安全・安心な子どもの居場所づくりという点と、教育格差のない子どもの貧困対策に関わるところをできるようにであれば2つの項目に分けて修正したいと思います。</p>
岡本委員	<p>私も⑮で1つ聞いたかったですけども、宇陀市で子ども食堂というのはどこがあるんですか。</p>
中西局長	<p>大宇陀では天理教の方がやってくださっていたり、菟田野の方でもやっていたいております。榛原も団体の方が場所を変えて、一昨年ぐらいからやっていたおりましたが、今はコロナで中止になっているかと思います。室生はまだないです。</p>
岡本委員	<p>わかりました。 もしウェブ版に子ども食堂について載せる場合、今現在活動しているところがあるのでしたら、その団体に子ども食堂ってここにありますよということを示させてもらっていいか一度確認していただくのと、多分、この運営をされている方は食材の購入に非常に困っていると思うんです。ウェブを使うのであれば、運営している方にお断りをしてからになると思いますが、その食材購入について寄付してくれる企業なり団体があれば、こちらの方にご連絡をしてくださいというようなところまで手引きしていただければ、両方の面で、Win-Winになるんじゃないかなというふうに思います。私も農業をしていたら、どこから聞きつけたのかわからないですが、あっちこっちの子ども食堂から、何か食材ありませんか？と言ってこられたり、手紙がきたりするんです。もし、ここに子ども食堂という言葉が載るのであれば、一度そういうのをお話していただいて、載せていただければと思います。親御さんが、もし、子ども食堂って書いてあるけど、どこあるんだろう？となったとき、そこに載っていれば、地域にあるんだったら1回聞いてみようかなと思うかもしれませんので、もし、そういうことが検討できるのであればよろしく思います。</p>
垣内主幹	<p>ありがとうございます。</p>

	<p>そういったところがウェブで掲載するメリットかなと思っていますので、例えば、ここに宇陀スタンダードという言葉も出てくるんですけど、それってどういうものなんだ？という時に、他のページで解説しているのそこにリンクするようにといったこともウェブだったらできるので、さらに深いところ、関連するページにリンクできたらいいなというようなイメージも持っております。</p>
垣内主幹	<p>4 「「郷土」を誇り、人権文化を創造しよう」について、前回総合教育会議での意見を踏まえた修正点を説明</p>
巽委員	<p>ありがとうございます。すっきりしましたが、まず、読んで感じたのは、⑰の結びの文言、“学ぶ機会を推進します”の箇所。“機会”というのは名詞的な使い方だから、“推進します”という言葉よりも、“充実させる”とか、“努める”の方がしっくりくるかなと思います。“推進する”という、行動的な動詞的なものを推進するという意味じゃないので、その文言をもう1度確認して欲しいです。また、多様な人権課題があり、中身は様々ですけど、高齢者とか子どもといったことは教育大綱の趣旨からして入れたらいいと思いますが、インターネットなど、今風の課題も入れた方がピンとくるかな、という気がしました。これが⑰の項目について1点です。それから、⑱「市民や地域社会のニーズに応じた生涯学習の充実」について、项目的にはすごく大事な項目だと思うんですが、その解説文は少し読みづらい。“公民館活動やまちづくり協議会などの地域や行政が連携して、ニーズに応じた学習機会の充実を図ります”ということは、文章的には、“公民館活動やまちづくり協議会などの活動”という意味ですよね？だから、そういう活動をしている地域と行政が連携しているのか、この文章の扱いは少し気になるかなというところが2点目です。</p>
垣内主幹	<p>ありがとうございます。⑰については機会ですよね。“機会の充実を図ります”という言葉が適切なのかなと今思いました。ありがとうございます。</p>
市長	<p>インターネットはどうします？</p>
垣内主幹	<p>参考資料3の法務省が挙げる強調事項17項目中、12番にインターネットのことが書かれていますけども、どれを具体的にあげていったらいいのかというのは・・・</p>
市長	<p>多分この法務省の強調事項の17項目には、順番はないと思うので、上から3つとか意識しなくていいと思います。まずインターネットについて事務局はどのように捉えていますか？</p>
垣内主幹	<p>これは教育大綱ですけど、学校教育だけではないと思うので、宇陀市として人権教育の重点課題というのは何なのかということも、担当課と相談しながら進める方が適切なのかなと考えているところです。学校教育に関わる部分では、インターネットが特に低年齢化しているという問題があるんですけども、市としてこれを全部大綱の中で挙げることもできませんので、担当課と相談させていただいて、具体的に3つぐらい挙げさせていただくのがいいのかなと考えているんですが、いかがでしょうか。</p>
市長	<p>インターネットもそうですが、法務省の強調事項4番目の障害者のことや、気になりだしたらどれも気になって難しいですけども。インターネットというのは確かに現代の課題ですよ。どうしましょう？人権推進課と相談しますか？委員の皆さんどうでしょうか？</p>
岡本委員	<p>宇陀の中で、人権問題となれば、やはり同和問題も当然、私たちも小さい頃からずっと勉強させていただいておりましたので、そういうところも聞いていただいて、宇陀という地域性も兼ね備えて、今の子どもたちの中ではインターネットのいじめ問題なりいろんなことが発生している中で、そういったものを幅広く検討していただいて、ここに載せていただければなというふうに思います。</p>
吉川委員	<p>女性、子ども、高齢者。全部、人ですよ。人のことしか言っていないので、そこにイン</p>

	<p>ターネットも入れた方が、いろんな人権課題がありますよというふうに、より分かりやすいのかなと思います。それと、いろんな人権課題に対して、積極的な取り組みが必要だということが大事ではないかなと思います。学ぶ機会を推進するじゃなくて、その課題について積極的に取り組みますよというようなことの方がいいのかなと思っていて、そこは学ぶ機会の推進でも充実でもいいと思います。</p>
垣内主幹	<p>ありがとうございます。</p> <p>重要な部分を中心に担当課の方にも目は通していただいているので、もう一度その意見もお伝えして、適切なのか、もう少し加えるべき点はないのかということも諮った上で修正させていただこうと思います。</p>
市長	<p>全体を通して言えるんですけども、最後どういう言い方するかで宇陀の姿勢が分かってくるので、頑張ります、といくのか、やります、といくのかという、それぞれみんながみんなやりますではないですけど、もう一度そういう目で全体を通して見ていただいたらどうでしょうか。強く出すところとか。</p>
異委員	<p>文章の中身のチェックですが、㉑のところ、“理解と愛着を深めるために、宇陀の史跡や文化財等の資源を活用して学ぶ機会を通して、それらを大切にするとともに”というところの後半はいいんですけど、何か文章としては読みづらいというか、“愛着を深めるために、活用して学ぶ機会を通して、大切にするとともに”というあたりの文言をどこか途中で切るか、“資源を活用して学ぶ機会を通して”というのが読みにくいと感じました。</p>
岡本委員	<p>㉑なんですけども、先ほど異委員もおっしゃっていたんですけど、これを見ていて、2行目の“協議会などの地域や行政が連携して”とあるんですけど、“地域と”にしたらどうかなと思ったので、そういった一言で変わるのかなと思いますので検討していただければと思います。</p>
市長	<p>大変熱心なご議論、ご意見をいただいて参りました。最後のまとめというところで、すごく大切なご意見をいただいたと思います。そうしましたらもう最後、1から4までを通して、もう一度、どの部分でも結構ですご意見あればいただきたいと思います。</p>
異委員	<p>細かい文言のところは時間をかけて修正していただくということで、前回提案していただいた中身をかなりすっきり整理していただいたというか、読みやすくなったし、こういうことを目指しているのだというのは、何となく感じられるような文章になっていたと思います。ご苦労かけたと思いますが、あとは提示の仕方とか工夫しながら、一般の方が読んだ感じや感想を他のところで意見聞いていただいて、修正できる部分は修正いただいたらなと思いました。</p>
教育長	<p>主な意見をまとめさせていただいて、確認いただけたらと思います。</p> <p>まず1番目の項で、“支援の充実に努めます”などといった末尾の表現について、再度検討をしっかりとお願いしたいということだったかと思います。それから⑦のところでは、コロナ対策という文言を何らかの形で入れていただけたらなと思います。それからウェブでの表現等々の修正も含めてということがありましたけども、もう1点吉川委員からありました、「もつ」の表記ですが、“誰もが持っている権利”や“誰もが持つ権利”などの場合は、法務省は必ず漢字で書いていますね。ところが、教育委員会的に言うと、平仮名で「もつ」として、子どもたちにやさしいというイメージが響きとしてあるのではないかという使われ方がありますので、県の教育大綱の奈良の学びというのが今新しくできて、そこと連携させていただきながら、表記の方は検討させていただけたらなと思っています。それから、“充実させます”の表現ですが、ここもまた先ほどと同じことで検討していただきます。それから、地域全体で子育てをしていくという3が4項目しかないということで、元々、原案で5つあったところを整理していただいていたわけなんですけど</p>

も、地域で子育てするという意味の内容に近づけるように、4つから1つ増やして、意見を尊重できるような形で持っていかれたらと思います。それから岡本委員から貴重な子ども食堂の情報提供であったり食材のお話もあったかと思いますが、宇陀スタンダードも含めて、そういった表し方というか、提示の仕方というものを検討させていただきます。それから、子どもたちの中でもスマホやインターネットの活用の中でいじめに繋がるなど、いろんな部分もかなり出てきていますので、宇陀の地域でも小学校6年生と中学校2年生の後半ぐらいから、スマホの持っている数値がぐんと上がってきて、ラインであったり、子どもたちの誹謗中傷も含めて、学校現場で苦労いただいているわけですが、そういった課題がありますので、多様なという形で、ダイバーシティなど様々な考え方も含めて、多様なという課題でくくらせていただいているのかなと感じておりますけれども、そういったことの表記についても検討させていただけたらと思っております。あと、岡本委員からありました基本的に公民館活動、分館を中心にやっていただいているわけですが、まちづくりの方は、まちづくり支援課の担当の方と一緒にやってもらい、教育委員会が関わっている公民館活動は、社会教育活動費を使っただけなどして、いわゆる学ぶ・集うというラインで推進していただくという形の連携をしっかりととっていると思いますので、そこがいわゆる、先ほどおっしゃった、「と」という言葉でつながせていただけたら、より鮮明になるのかなという点も含めて、また検討させていただけたらと思っております。

いろいろご意見いただきまして、よりよい形でまとめられたらと思いますので、再度また今後については連絡あると思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。

市長

ありがとうございます。今、教育長の方で振り返り、まとめていただいたんですけども、皆様の本日のご意見を踏まえて改訂版の作成作業を進めていきたいと思ひます。ご意見ありがとうございます。

今後の予定、その他含めまして、事務局から、説明をしていただきたいと思います。

中西局長

本日は本当に熱心に、貴重な意見をいただき、本当にありがとうございます。委員がおっしゃっていますように、よりわかりやすい、市民に伝えられる教育をこれからしっかりとやっていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

それから報告事項が1件ございまして、令和元年より宇陀市学校規模適正化検討委員会というのを4回開催させていただいたり、市民の方の意見をいただいたりしてございましたけれども、1月22日の最終の検討委員会で、答申を案という形で協議をさせていただきました。今月の定例教育委員会にその内容について報告をさせていただきたいと思ひますので、教育委員のみなさん、どうぞよろしくお願ひいたします。

垣内主幹

そうしましたら今日はどうもありがとうございます。

本日、ご協議いただきました宇陀市教育大綱改訂版につきましては、来年度の予算で印刷を予定しております。それまでに本日ちょうだいいたしましたご意見をもとに修正したものを委員の皆様へ送付させていただきますので、ご確認いただきまして、お気づきになった点がありましたら教育総務課までお伝えいただければと思ひますので、よろしくお願ひいたします。本日はありがとうございます。